

うえるうえる

Well Well



申

A HAPPY NEW YEAR 2004.1.1



二〇〇四年
年頭のご挨拶



坂井瑠実クリニック院長
坂井瑠実

あけましておめでとうございます。早いもので坂井瑠実クリニックも6回目のお正月です。良いお正月をお迎えになられたでしょうか。このところ低迷していた兵庫県の献腎移植も昨年は13と全国で注目される数になり、当院でも献腎1を含む5人の方が腎臓移植をうけられ、皆さんお元気です。兵庫腎疾患対策協会や移植推進協議会、透析医会の移植推進部会 etc いろいろな会に関わって移植推進活動をしている人間としてとても嬉しく思っています。ネットワークのルールの変更で、最近の献腎移植はHLAの型より、登録した年月日即ち待機年数が確実なポイントになりますので、希望される方は早く登録して下さい。紹介状をお書きします。更新し忘れたら新たな登録となりますので、日頃から腎移植の素晴らしさを実感できますが、QOLの高さや、時間、食事の制約だけでなく、長期透析の合併症を回避するために腎臓移植は必要と思っております。宝くじだって買わなければ当たりません。アメリカのように望めば3年以内に移植が実現するようになるにはどうすればよいのでしょうか！20年来の課題です。

一方、当院の透析患者さんも、介護を要する方々が多くなり、かつお一人暮らしの方が増えている現状をふまえて、昨年9月、透析施設付きの特別養護老人ホームの申請をしました。神戸市での許可はたった1カ所（11申請あり）、残念ながら許可にはなりませんでしたが、あきらめずに再挑戦したいと思っています。

年頭に当たって、今年はずっと献腎移植が進むよう、皆様方が安心して透析が出来るよう祈願しました。診療報酬が大きく切り下げられないよう、患者さんの自己負担が出て来ないよう祈るばかりです。

現在、坂井瑠実クリニックに外来診察・透析外来で通われている移植経験者の方々に腎移植に関するアンケートに答えていただきました。
貴重な御意見をここに掲載させていただきます。

(回答者：移植後外来診察に通われている方5名、移植後透析再導入されている方5名)

1. あなたの年齢 性別は？

*男性：40代…1名 50代…3名 60代…1名 *女性：40代…1名 50代…3名 60代…1名

2. 透析を導入して何年目に腎移植をされましたか？ (2回移植経験者1名を含む)

*男性 2年～5年…1名 5年～10年…3名 10年～20年…2名

*女性 1年以内…2名 2年～5年…1名 20年以上…2名

3. 腎移植をして何年何ヶ月ですか？もしくは生着期間は？

<移植経験者>

*男性：1年以内…1名 2年～5年…1名 10年～20年…1名 *女性：1年以内…2名

<透析再導入者生着期間>

*男性：1ヶ月以内…2名 10年～20年…1名 *女性：10年～20年…1名 20年～30年…1名

4. それは、生体腎移植 献腎移植のどちらですか？ (2回移植経験者1名含む・無回答1名有)

*生体腎移植：男性…3名 女性…3名 *献腎移植：男性…3名 女性…1名

5. 生体腎移植の方にお聞きします。

① それは誰からの提供でしたか？

*男性：妻…1名 母…1名 姉…1名 *女性：母…2名 姉…1名

② 移植が決まってから手術までのお気持ちをお聞かせください。

- ・ 9月に入院したが肝臓が悪い為、手術まで約7ヶ月間かかった。余命3ヶ月になったので家族、本人の希望で行った。
- ・ 移植のクロスマッチ検査でOKが出て半年、子供の入学と仕事の段取りとを見て比較的余裕を持って手術に望めた。リウマチの母も腎臓に良くない薬を変えるなどして協力してくれた。兵庫医大の先生や坂井先生のインフォームドコンセントに支えられマイナスのことはあまり考えなかった。
- ・ 4月22日の手術が決定しましたが、心臓が少し弱っていたので日時を延ばす事に決定し、6ヶ月間透析のお世話になりましたが、手術に向けての希望が私に強い意志を持たせてくれた。
- ・ 手術に対する不安、移植が成功しなかった時への不安など、不安が期待を上回っていました。特に健康なドナーからの提供を受けることについては、家内の強い提供の意思が無くては決心がつかなかった。
- ・ 移植まで約1ヶ月県立西宮病院に入院していましたが、不安な気持ちは全然なかったです。楽しみは、飲み物とお菓子を一杯食べて下さいとの事なので楽しみでした。
- ・ 一回目(献腎)：突然のことだったので、後先のことは考えずとにかく期待感で一杯だった。
- ・ 二回目(生体)：一回目が失敗していたので不安な気持ち。手術後への期待は意識して持たないようにした。

6. 献腎移植の方にお聞きします。

① 移植の提供の連絡があった時の気持ちをお聞かせください。

- ・ 特別にありません。移植登録の時に呼出がかかれば行くと決めていましたし、逆を言えば迷うなら登録はしなかった。
- ・ その時が来たとドキドキした。
- ・ 移植ができるとは思ってなかったので、大変ありがたいことだと思った。
- ・ 日曜日の早朝TELにて連絡を受けた為、相談することができず、決断するのに一瞬迷いました。
- ・ 正直言って助かったと思う気持ちで一杯でした。しかし、肉親から生体腎を全く期待できそうもなかったのに、何故私だけがこんなに簡単に他人から臓器を簡単にもらっていいものか。他人から臓器をもらうということは一体どういうことか少し考えて悩んだ。

7. 移植経験者にお聞きします。

- ① 薬の副作用のある方はどんな副作用がありますか？
- ・あるかないかは判らない。(いずれ出てくると思う) 拒絶反応の時に使ったステロイドで糖尿病を起こした。インスリンからは解放されたが血糖値のバラツキがある。
 - ・手足のしびれと脂質の上昇
 - ・血糖値、中性脂肪がやや高め
 - ・頭髪が薄い以外思い当たらない

8. 透析再導入者にお聞きします。

- ① 透析を再導入することになった時の気持ちは？
- ・親からもらった腎臓なので、悪くなっていく時は自分の管理の仕方が悪かったと反省している。
 - ・データが明らかに悪くなっていたので、母にも自分にも家族にも2～3年前から言い聞かせて徐々に心の準備をしていった。血液透析は初めてだったので、不安だった。
 - ・期待が大きかっただけに落胆も大きかった。2～3年は、なかなかその状態から立ち直れなかった。
 - ・言葉で表現するのがわからないくらいの気持ちの落ち込みがありました。
 - ・したくなかった。以前より透析には戻らないと決めていた。両親が存命しているのでとどまらされた。
- ② 機会があればもう一度移植をしたいですか？
- a. したい…4名 b. してもいいと思う…1名 c. どちらでも良い…0名 d. したくない…0名
- ③ 今、移植登録をしていますか？
- a. している…3名 b. していない…2名

9. 移植経験者として移植登録をされている皆さんに一言

- ・移植は機会があれば絶対にすべきです。もっと移植に対して情報を出すべきです。提供してくれた母も何の弊害も出ていません。
- ・私が移植を受けた頃は、同室者が皆移植者という移植最盛期の時代だった。バラ色の人生を取り戻したという感じで体も軽く元気になった。外国のように多くの人が移植出来るようになって欲しい。感染症や副作用で命をなくした人や調子の悪い人も見てきたので、副作用の少ない免疫抑制薬が開発されることを望む。
- ・私は、人生は経験することが貴重だと思っている。楽しいことも苦しいことも経験することによって人生は意義があるのだと。だから、失敗を恐れずにチャレンジしていきたい。
- ・連絡を受けた時、どうするか？日頃から心の準備をしておくのと良いと思います。移植がもう少し増えるよう皆で努力しなければと思います。
- ・調子をくずすと、階段を降りるように悪くなるので、薬等は指示通り飲むこと。
- ・どの様な形(透析etc)であれ、継続、維持する事が大切だと思う。決してあきらめないで体調を整えて(健康)小康状態を保つ
- ・手術を受けることでこんなに元気をもらえるのですから、もっともっとドナーになることの説明と理解を知らせることが大切だと思います。
- ・献腎登録をされている方は、突然の連絡があるので心の準備と体調を整えておかれるように。特に待機年数の長い方は、ポイントが高いと思います。断らないように。
- ・手術自体は全く心配ありません。チャンスがあれば迷わず移植を受けられることを望みます。
- ・生体腎移植の場合、手術する当事者だけでなく、身内の話し合いを充分にし、皆が納得し、心から手術の成功を祈る気持ちになるような環境にすることが、必要だと思います。
- ・現在のようになかなか移植のチャンスがない状況です。献腎移植を希望されるなら、他人から臓器をもらうというより、“いのちを頂く”ことについて考えて頂きたい。その次に、その結論は別として、御自身の御家族の方たちと臓器提供について、また「意思表示カード」の所持について話し合ってください。私は、登録者として今出来ることはやるべきだと思っています。